

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成12年度～	根拠法令・例規等	中山間地域等直接支払交付金交付要綱
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	
	中項目	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち	
	小項目	施策	25	魅力ある農林業の推進	
事務事業名		08	中山間地域等振興事業		
		担当課(室)	産業振興課		
		職・氏名	係長 松下 広 信		
		電 話	0869-64-1831		
		このシート作成に要した時間	5.0 時間		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	集落協定に基づいて農業生産活動を行う農業者	
目的(何のために)	中山間地域等における農用地を保全し、水源かん養等の多面的機能を確保するため	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	中山間地域では、平地に比べ傾斜地が多いなど、生活条件が不利なため、耕作されずに放棄される傾向にあることから、この制度によって農地を保全し、その多面的機能を確保する。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	中山間地域等振興事業	中山間地域等直接支払制度に取り組む事業及び推進事業	◎
		備前地区農業農村振興協議会負担金	備前地区農業農村振興協議会事務運営費負担金。	○
		全国中山間地域振興対策協議会会費	全国中山間地域振興対策協議会事務費負担金。(吉永地区分)	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	14,247	14,428	14,449
	必要人員費	人	0.06人	0.15人	0.13人
	事業費計	千円	14,815	15,931	15,479
	国県支出金	千円	10,696	10,546	10,696
	受益者負担	千円			
	財源	千円	3,517	3,515	3,516
	市債				
	その他()				
	一般財源		602	1,870	1,267
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	結果指標名	説明	交付対象面積		
	結果指標量		914,941	914,941	914,941
	対前年比	%	100.1%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	14,062,000	14,061,673	14,061,673
	単位当たりコスト	円	15	15	15

事業の成果		(平成25年度事業)				
交付対象面積	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目標値(A)					
	実績値(B)		91.5	91.5	91.5	到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C
市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
説明		現行制度の最終年となることから、引き続き集落協定が締結されている農地が適正に耕作・管理されるよう監視・指導をしていく必要がある。今後は、制度が継続されるかどうか見極めながら対応していく予定である。							

総合評価		総合評価
全体的に14集落とも事業の趣旨に沿って順調に取り組み、集落の共同取組活動により農地の管理が適正にされている。今後も管理状況を確認して必要に応じて指導を行う。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
取組目標		次期中山間地域等直接支払制度がどうなるか不透明な部分もあるが、継続して実施される場合は、スムーズに事業が実施されるよう、集落に情報提供を図りながら推進する。							

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな